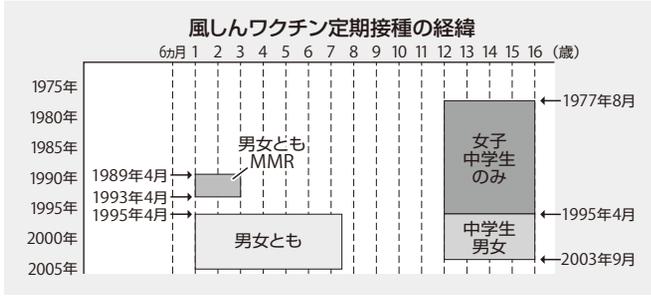




1977~95
年頃の風しん対策

風しんに対して免疫のない女性が妊娠中に風しんにかかると、赤ちゃんに先天性の難聴や心疾患などの障害が起ることがあります。これを「先天性風しん症候群(CRS)」といい、特に妊娠初期の感染では障害が起る確率が高くなります。



なぜ流行を繰り返す? 予防接種には、「個人を守る」と「社会を守る」の2つの役割があります。予防接種を受けることでその病気に対する免疫(抵抗力)がつくられ、その人の感染症の発症あるいは重症化を予防することができます。また、周りの人たちが免疫を獲得していることで、集団の中に感染者が出ても流行を阻止することができる「集団免疫効果」が発揮されます。風しんの場合は、集団の80~85%の人が免疫を獲得していると集団免疫効果が発揮されます。

平成25年(2013) 6月1日(土) 新ワクチン Vaccine News 新聞 平成25年初夏号

監修:川崎医科大学小児科学 教授 中野 貴司 先生 平成25年初夏号のトピックス ●風しん!なぜ流行を繰り返す? ●日本脳炎ワクチンはなぜ必要なの? ●定期接種に3ワクチンが追加されました

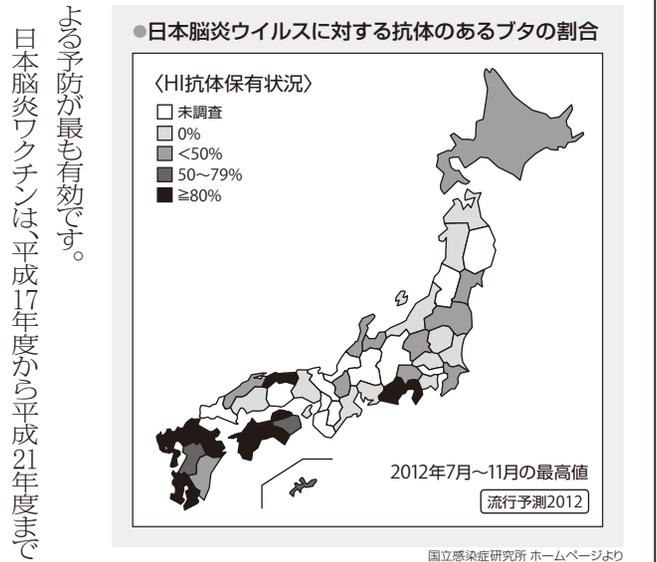
日本脳炎は他の感染症と違い、人から直接感染することはありません。日本脳炎ウイルスがブタなどの体内で増え、そのブタの血を吸った蚊(コガタアカイエカ)にさされることでうつります。このため、私たちが生活している周囲に日本脳炎ウイルスをもったブタが存在するのかが問題となります。毎年、国立感染症研究所による流行予測調査でブタのウイルス保有状況が確認されています。この調査によると、日本各地のブタから日本脳炎ウイルスが検出されているので、私たちヒトにも感染のリスクがあることが分かります。

なぜ必要なの? 日本脳炎は他の感染症と違い、人から直接感染することはありません。日本脳炎ウイルスがブタなどの体内で増え、そのブタの血を吸った蚊(コガタアカイエカ)にさされることでうつります。このため、私たちが生活している周囲に日本脳炎ウイルスをもったブタが存在するのかが問題となります。毎年、国立感染症研究所による流行予測調査でブタのウイルス保有状況が確認されています。この調査によると、日本各地のブタから日本脳炎ウイルスが検出されているので、私たちヒトにも感染のリスクがあることが分かります。

は、CRSを防ぐことを目的としていたため女子中学生だけが風しんワクチンの接種対象でした。そのため、平成14年の調査では、風しんに対する免疫を持たない人が、20~30歳代では推計530万人(このうち男性が450万人)にのぼりました。現在は、男女とも1歳と小学校就学前の2回、麻しん風しん混合(MR)ワクチンを接種されていますが、ワクチンを接種されなかった20~40歳代の男性は十分な免疫を獲得していないため流行の中心となっています。子どもたちのワクチン接種率が高まると風しんの流行間隔が広がりますが、免疫が低下した成人が増えると、職場や地域で成人を中心とした風しんの流行がみられます。流行を繰り返さないためには、集団の80~85%の人が免疫を獲得し、維持することが重要です。

追加されました 平成25年4月に予防接種制度が改正され、次の3ワクチンが定期接種に追加されました。 <定期接種に追加されたワクチン> ●インフルエンザウイルスb型(H1N2)ワクチン ●肺炎球菌結合型ワクチン(PCV) ●子宮頸がん(HPV)ワクチン

日本脳炎は東アジア・南アジアにかけて広く分布する病気です。このため、アメリカでは、日本を含むアジアへ旅行するアメリカ人に日本脳炎ワクチンを接種してから旅行することを勧められています。



SFTS(ダニ媒介感染症) ダニの活動が活発となる春からその動向に注意しましょう。残念ながら有効なワクチンがありません。蚊では肌の露出を避け、刺されたらすぐに医療機関へ行きましょう。

Table with columns for seasons (Spring, Summer, Autumn, Winter) and months (April to March). Rows list various diseases like Measles, Rubella, Mumps, etc., with shaded cells indicating peak or common periods.

ワクチンで予防できる 感染症は予防しましょう。 <今後、定期接種化が検討されているワクチン> ●水痘(みずぼうそう) ●おたふくかぜ ●成人用肺炎球菌 ●B型肝炎

